

第13期のご報告

2023年4月1日～2024年3月31日



ウェルネオシュガー株式会社

株主の皆様へ



代表取締役社長 山本 貢司

代表取締役会長 仲野 真司

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年1月の令和6年能登半島地震により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

日新製糖株式会社と伊藤忠製糖株式会社は、2023年1月1日付で経営統合を行い、ウェルネオシュガー株式会社を持株会社とする新たなグループ体制を発足いたしました。また、2024年10月1日付でウェルネオシュガー株式会社を存続会社とする日新製糖株式会社と伊藤忠製糖株式会社との3社合併を実施、更に2025年10月(予定)にグループ会社の第一糖業株式会社を吸収合併し、グループ内の経営資源・ノウハウを結集することで、「食」と「健康」を通じた豊かな生活への貢献に向けた経営体制の一層の強化を図ってまいります。

今般、当社グループでは、「糖のチカラと可能性を切り拓き、“Well-being”を実現する」という当社のPurpose(存在意義)のもと、ウェルネオシュガーの将来的なありたい姿を見据えた中期経営計画「WELLNEO Vision 2027」を策定いたしました。これまで取り組んできた独自性の高い機能性素材に関する研究開発と市場展開を推進し、“Well-being(幸せ・健康)”に資する成長分野や注力分野への積極的な資源の投下を行うことにより、当社の様々なステークホルダーの皆様の“Well-being”の実現を目指してまいります。

新たな成長領域である「Food & Wellnessセグメント」におきましては、健康増進による人々の生活の質の向上に貢献するべく、フローラデザイン素材をはじめ、多種多様な機能性素材・サービスを提供するとともに、更なる付加価値の創出に向けた研究開発にも注力してまいります。

製糖事業を中心とする「Sugarセグメント」におきましては、消費者の皆様に対して、生活必需品である安全・安心な砂糖製品の安定供給という社会的責任を果たしていくことを最優先に取り組みながら、経営統合によるシナジー効果の早期実現と、経営効率の追求等を通じた収益性向上により、事業基盤を強化してまいります。

また、これらの事業を支える経営基盤の強化に向けて、人的資本経営およびサステナビリティ経営を推進するとともに、公正で透明性の高い事業運営を行うことにより、持続的な成長と更なる企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

経営統合および吸収合併について

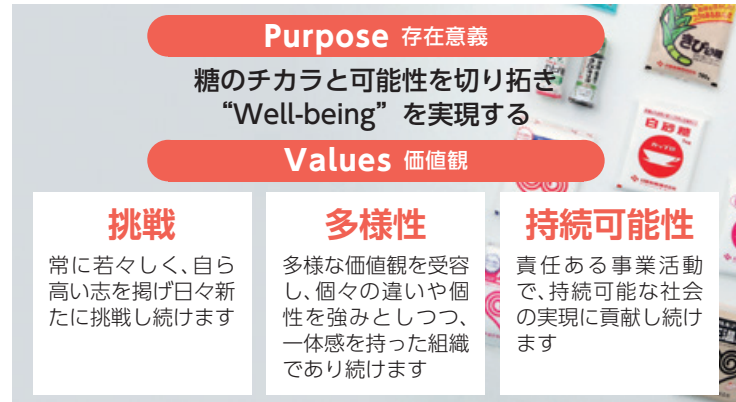
■ 経営統合について

日新製糖株式会社と伊藤忠製糖株式会社は2023年1月1日付で経営統合を行い、ウェルネオシュガー株式会社を持株会社とした新たなグループ体制を発足いたしました。

両社が保有する知見やリソースを集結し、経営基盤の強化と新たな事業領域の拡大に拍車をかけ、一層の企業価値向上を図ることにより、ウェルビーイング(Well-being)を実現する製糖業界のリーディングカンパニーを目指してまいります。

【経営理念】

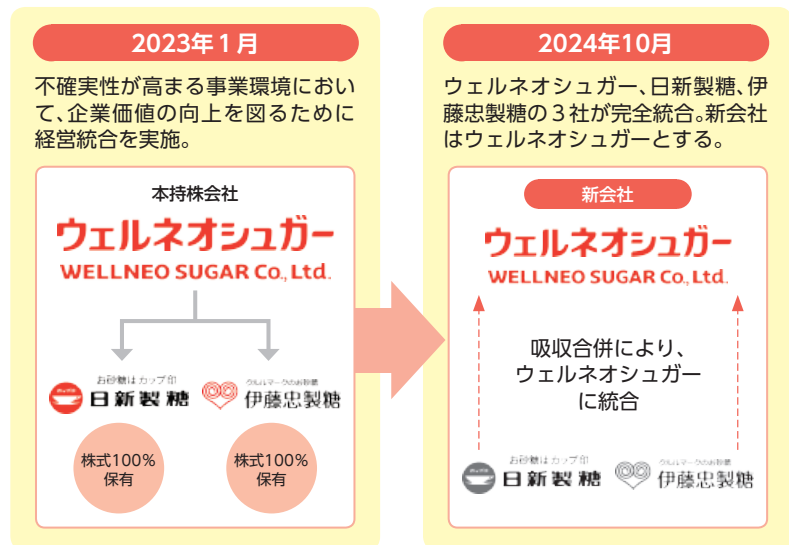
パーパス&バリューを軸に、すべての事業活動を通じて、より良い社会づくりに貢献してまいります。



■ 吸収合併について

当社は、当社を存続会社として、2024年10月1日(予定)に当社の100%子会社である日新製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社を吸収合併(以下「本合併」といいます。)することといたしました。

本合併により、不確実性の高まる事業環境において、経営基盤を強固なものとし、適切なグループガバナンスのもとで迅速な意思決定を行い、シナジー効果を早期に発揮するとともに、業務効率化による収益力の向上を図り、成長分野への積極的な資源の投下を推し進め、一層の企業価値の向上を目指してまいります。



業績のご報告

当社グループは、2020年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

2023年1月1日付の経営統合により、当連結会計年度の主要な経営指標等の各計数は、前連結会計年度と比較して大幅に変動しています。

当連結会計年度におけるわが国の経済につきましては、インバウンド需要が回復し企業業績の改善が見られるものの、不安定な国際情勢、世界的な金融引き締めによる為替影響、物価上昇による個人消費の伸び悩みなどにより先行き不透明な状況が続いています。

当連結会計年度の業績は、前期の期中における伊藤忠製糖㈱との経営統合、および主力の砂糖事業においてコスト上昇に対する売価への反映を進めたこと等により、売上収益は92,192百万円(前期比58.0%増)、営業利益は5,802百万円(同261.2%増)となりました。金融収益において、国内の投資先からの受取配当金1,552百万円を計上しました。以上の結果、税引前利益は7,627百万円(同322.8%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は5,524百万円(同420.0%増)となりました。

連結業績におけるセグメントの概況は以下のとおりです。なお、各セグメント利益は全社費用586百万円を含んでいません。

砂糖その他食品事業

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり22.35セントで始まり、主要生産国ブラジルでの穀物の輸出増加による物流面での混乱懸念等から4月下旬には27セント台半ばまで上昇しました。ブラジルでの生産や輸出が順調に進んだことで一時21セント台まで下落しましたが、インドの減産懸念から砂糖輸出禁止措置が発表されると再度上昇し、11月上旬に今期高値となる28.14セントに達しました。その後、ブラジルの輸出量が大幅に増加するとの見方から今期安値となる20.03セントまで急下落し、安値圏では実需国の買いが相場を下支えする中でインド、タイの減産観測の緩和により上値も抑えられ、22.52セントにて当期を終了しました。

一方、国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)につきましては上白糖1kg当たり227円～229円で始まり、海外原糖市況の高騰を受け、7月下旬に12円、1月中旬にも10円と合計22円上昇し、249円～251円で当期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、インバウンド需要の回復により土産菓子、外食関係向けなどが持ち直したものの、食品価格の値上げが続いたことによる消費低迷や家庭内調理機会の減少の影響を受けました。そのような中、独自製品のきび砂糖[®]、きび

海外原糖市況(ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限))

日付	セント/ポンド	円/kg	為替(円/ドル)
始値2023年4月3日	22.35	66.10	134.15
高値2023年11月7日	28.14	93.74	151.10
安値2023年12月26日	20.03	63.26	143.27
終値2024年3月28日	22.52	75.72	152.52

(注) 1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TTSによっています。

オリゴの出荷は好調に推移しました。売上収益につきましては、伊藤忠製糖グループの業績が通期にわたって寄与するようになったこと、およびコスト上昇に対する売価への反映を進めたことにより増加しました。利益面においては、有利な原料調達ができたと、および前期に経営統合関連の一過性費用を計上していたことにより大幅な増益となりました。

ツキオカフィルム製薬(株)につきましては、箔押、食用純金箔、フィルムの各事業において受注が増加したこと等により増収増益となりました。

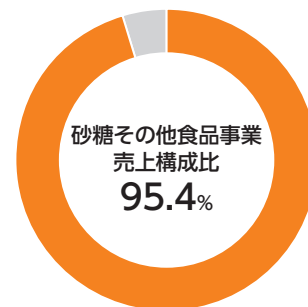
以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は87,953百万円(前期比63.1%増)、セグメント利益は6,015百万円(同258.1%増)となりました。



きび砂糖。



沖縄・奄美のきびオリゴ

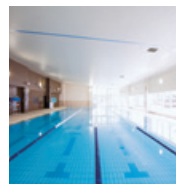


健康産業事業

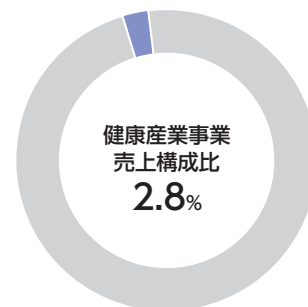
健康産業事業につきましては、フィットネスの会員数が前期比で緩やかに回復してきていること、および効率的な運営によるコスト削減を継続していることから、売上収益は2,601百万円(前期比0.5%減)、セグメント利益は128百万円(前期は減損損失145百万円を含むセグメント損失204百万円)となりました。なお、セグメント利益にはリース負債の見直しによる再測定益235百万円、および不採算店舗の退店決定による減損損失173百万円が含まれています。



スポーツクラブエンターテインメントA-1笹塚店



ドゥ・スポーツプラザ上里店

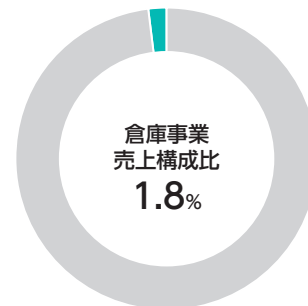


倉庫事業

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入合板の取扱量が減少したこと、および棧橋更新工事による費用増加により、売上収益は1,637百万円(前期比8.6%減)、セグメント利益は244百万円(同26.7%減)となりました。



ニューポート産業株式会社



対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと移行したことや、行動制限が緩和されたことにより、社会経済活動は正常化に向かい、またインバウンド需要も増加したことから緩やかな景気回復が続くことが見込まれる一方で、エネルギーコストや物流コスト等の上昇や円安の影響による物価上昇圧力を受け、お客様の生活防衛意識が高まり、2024年度においても先行き不透明な厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、2024年10月1日付で当社を存続会社とし、グループ会社である日新製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社と合併する予定です。経営資源・ノウハウを当社に結集することで、効率的な経営のスピードアップを図るとともに、独自性の高い機能性素材の研究開発と市場展開を更に推進し、“Well-being”（幸せ・健康）に資する今後の成長分野への資源の投下を積極的に行っていくことにより、「食」と「健康」の両面で豊かな生活の実現に貢献し、企業価値の最大化を目指してまいります。

【中期経営計画】

今般、「糖のチカラと可能性を切り拓き、“Wellbeing”を実現する」という当社のPurpose（存在意義）を軸に、ウェルネオシュガーグループの将来的なありたい姿を見据え、さらなる企業価値の向上を目指し、その実現に向けた中期経営計画として「WELLNEO Vision 2027」を策定いたしました。この中期経営計画では、以下4つの戦略の柱を立てており、これらに取り組むことにより、当社を取り巻く様々なステークホルダーの“Well-being”の実現を目指してまいります。

①Food & Wellnessの事業拡大

Food & Wellnessセグメントにおきましては、健康増進による人々の生活の質の向上に貢献するべく、フードサイエンス事業とフィットネス事業により、幅広い場面で活用される多種多様な機能性素材・サービスを提供してまいります。

フードサイエンス事業では、腸内・口腔フローラ（腸内・口腔内に生息する多種多様な細菌の集まり）環境を整えることが心身の健康に寄与することに注目し、フローラを制御・デザインする様々な素材を展開していくことで、Sugarセグメントに次ぐ収益の柱への成長を目指します。カップオリゴ（ガラクトオリゴ糖）やきびオリゴ（フラクトオリゴ糖）などの腸内環境の改善に資する機能性甘味料素材については、製造能力の増強や認知度の向上と販売拡大に取り組み、オーラルケア分野での効果が期待される当社グループ独自のサイクロデキストランは、今後の需要に対応するべく増産に向けた設備投資を行いながら、更なる付加価値の創出に向けた研究開発にも注力いたします。これまで実施してきたプレバイオティクス素材を活用した産学連携による技術開発にも引き続き取り組んでいくほか、ツルヤ化成工業株式会社にて研究開発を進めている食品添加物・高機能性食品や、ツキオカフィルム製菓株式会社の「可食フィルム」の事業展開や連携による商品開発力の強化など、グループ会社の資産や知見も最大活用してまいります。また、今後の更なる事業拡大においては、M&A等の活用も積極的に検討してまいります。

フィットネス事業では、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと移行したことにより会員数の回復を見込んでおりますが、競合サービスの台頭など多様化が進み、経営環境は引き続き厳しい状況にあります。集客促進のための効果的な広告も実施し、総合型店舗における子ども向けスクール事業の強化と採算性を重視した経営に努め、安全・安心な健康・からだづくりの場の提供を行い、早期の業績回復を目指してまいります。

②Sugarの基盤強化

国内砂糖消費量は、コロナ禍による落ち込みからは徐々に回復しつつあり、インバウンド需要の回復も見込まれておりますが、海外原糖市況については、主要生産国の増産見通しはあるものの、投機資金の動き等から先行きを見通しにくい環境にあり、また地政学的リスクや円安にともなう国内物価上昇の傾向から消費購買意欲の低下が懸念されるなど、今後も不透明かつ厳しい市場環境が見込まれます。

当社グループとしては、消費者の皆様に対して、生活必需品である安全・安心な砂糖を安定的に供給することで社会的責任を果たしていくことを最優先に取り組みながら、採算性を重視したオペレーションに努め、今般の経営統合・合併によるシナジー効果を早期に発揮し、ビジネスプロセスの業務効率化・生産性の向上や、きび砂糖®をはじめとする高付加価値品販売の推進を軸とする商品力・販売力の強化を図ることにより、事業基盤を強化するとともに、業績の向上を目指してまいります。また、強固な基盤づくりの一環として2025年10月1日を目標に、当社の連結子会社である第一糖業株式会社を吸収合併する基本方針を2024年5月24日付取締役会において決議いたしました。今後も業界再編の動きが更に加速していくことが予想され、この動きに適切に対応できるよう、引き続き、経営効率と経営品質の向上に取り組んでまいります。

③人的資本経営の推進

当社グループでは、会社と従業員が結びつき、価値創出のプロセスを示していきたいと考えております。事業戦略に必要な人材要件を言語化し示すことで、従業員の共感と挑戦を引き出すとともに、多様な価値観をリスペクトし受容するオープンな職場環境のもと、すべての従業員が自律したプロフェッショナルとして活躍できる新しい人事制度を導入・運用し、従業員一人ひとりの自立的なライフキャリアを尊重する人材育成を推し進めてまいります。そのような取り組みが新しい価値創出につながり、多様な人材に選ばれ続ける企業となる循環を生み、当社グループの持続的成長につながる取り組みと考えております。

④サステナビリティ経営の推進

サステナビリティの推進につきましては、従前定めておりました6つの重点領域をもとに、個人や企業を取り巻く社会環境、事業環境の変化を捉えたうえで、パーパス・事業戦略等を踏まえ、5つのマテリアリティ（重要課題）として特定いたしました。

今後これらのマテリアリティに対する取り組みを進め、持続可能な社会の実現に貢献し、当社グループの企業価値をより一層高めていくことで、サステナブル企業として、様々なステークホルダーの“Well-being”の実現に注力してまいります。

今後も社会環境、事業環境の変化を適切に捉えながら、ガバナンス体制の強化、既存事業の成長と事業領域の拡大を着実に進め、強固な経営基盤を構築することにより、プライム市場の上場会社として、更なる企業価値向上に努めてまいります。

中期経営計画 WELLNEO Vision 2027の重点戦略

4つの重点戦略によって“Well-being”の実現を目指す

① Food & Wellnessの事業拡大



- 事業戦略①
フローラデザイン素材の積極拡大(既存拡大)
- 事業戦略②
M&Aを通じたフードサイエンス事業の成長(新規拡大)

② Sugarの基盤強化



- 統合シナジー効果の拡大
- 業界再編に応じて、更なる基盤拡充策の推進

③ 人的資本経営の推進



- 従業員の“Well-being”とエンゲージメントの最大化
- 人材の多様性の確保とオープンな環境

④ サステナビリティ経営の推進



- おいしさと健康の両立に役立つ製品・サービスの提供によって生活者の“Well-being”に貢献
- 自然との共生

Food & Wellnessの事業拡大

Food & Wellnessセグメントでは、幅広い場面で活用される多種多様な素材・サービスを提供

Food & Wellnessの事業概要

フードサイエンス事業

機能性素材

(フローラデザイン素材強化)



ネオ機能性素材部にて
研究開発・製造・販売

食品添加物



ツルヤ化成工業との
共同研究開発・製造・販売

可食フィルム



ツキオカフィル
ム製薬にて研究
開発・製造・販売

糖由来・甘味料関連



Sugarセグメン
トを活かした調
達・保管・物流・
販売

フィットネス事業

健康・からだづくり の場の提供



日新ウエルネスにて
フィットネスジムを展開

フローラデザイン素材の積極拡大

積極拡大を狙う、フローラデザイン市場は様々な広がり可能性を有している

腸内・口腔フローラとは

フローラ = サイキンソウ
細菌叢

フローラとは、腸内・口腔内に生息する多種多様な細菌
(=約1,000種100兆個)の集まり



善玉菌、悪玉菌、日和見菌の3種類の菌が、善玉菌優位な状態でバランス
良く存在するように腸内・口腔フローラ環境を整えることは**心身の健康**
に寄与することが期待される

フローラデザイン市場とは

狭義

パーソナライズ化された食
生活指導

- 例) ・フローラ(細菌叢)をデザ
インして心身の健康を目
指すサービス
- ・適切な食事プランやサプ
リメントの提供

広義

食品(腸内/口腔フローラ
のプレ・プロバイオティ
クス)

ペット市場

美容化粧品(肌フローラ)
医薬部外品

腸内フローラ・口腔フローラを中心とした素材や製品を展開し、収益の柱を目指す

腸内フローラ

きびオリゴの 戦略的拡販

- 顧客ニーズに基づきパッケージデザイン変更等、広告施策強化
- 同じさとうきび由来の固形砂糖として業界No.1の主力商品である“きび砂糖”に並び、No.1ブランドに向けて礎を築く



ガラクトオリゴ糖 製造能力増強

- ヒトミルクに含まれるオリゴ糖
- ガラクトオリゴ糖の製造能力増強と機能性の訴求により、更なる拡販を図る



ケストースの 研究開発強化

- 腸内の善玉菌を選択的に増殖させるオリゴ糖
- 藤田医科大学と同素材を中心に共同研究を継続中であり、ヒトの健康維持や病気の補完治療を目指して、エビデンス取得・拡販を図る

口腔フローラ

サイクロデキストランの事業拡大

- 世界で当社だけが製造販売している、オーラルケア機能をもつオリゴ糖サイクロデキストラン含有製品。グルコースが連なった環状のオリゴ糖であり、虫歯菌のGTF酵素を特異的に阻害する独自の作用機序をもつ。歯垢形成を少量で強力に抑制し、全身の健康維持にも役立つことが期待される
- 砂糖と一緒に摂取しても効果があり、砂糖事業とのシナジーが期待される

増産に向けた設備投資

- サイクロデキストラン増産に向けて千葉工場での設備投資を実施。2025年度中に本生産を開始予定



フローラデザイン素材と食品・菓子・口腔ケア・ペットフード等との掛け合わせ事例

フローラデザイン×食品・菓子・口腔ケア市場

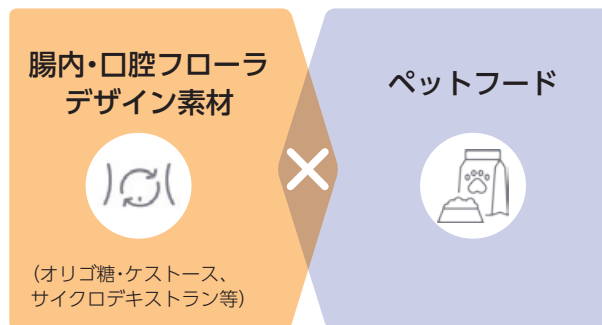
近年、腸活等による健康意識は向上傾向
高齢化に伴い、高機能性製品への需要も増加中



Sugar事業での顧客網・知見を活かした
幅広い事業分野との掛け合わせにより、
国内外への展開も期待できる

フローラデザイン×ペットフード市場

近年、ペットへの健康意識は向上傾向
ペットの長寿化に伴い、高機能性製品への需要も増加中



大学との共同研究・エビデンスを活かした
ペット市場との掛け合わせにより、
国内外への展開も期待できる

Sugarの基盤強化

統合シナジー最大化の推進

統合シナジーとして営業利益約15億円規模の拡大を狙う

	活動	全社・コーポレート・DX施策	基盤強化
調達	- 調達方法の最適化 - 包装資材の見直し	- 約20億円のDX投資を行い、DX施策により統合シナジー実現を加速 DXの具体的施策 - 基幹システムの統合・変革によるデータ活用基盤強化 - データドリブンな経営管理 - サプライチェーン最適化	2024年10月にウェルネオシュガーへの、日新製糖および伊藤忠製糖の吸収合併を当初の予定通り実行 2025年10月にウェルネオシュガーへの、第一糖業の吸収合併を新たに実行。グループ体となり統合シナジーの最大化を推進
生産	- グループ生産体制の最適化 - 使用ユーティリティの削減		
物流	- 配送の効率化 - 保管効率の向上		
営業	- 販売戦略の最適化 - 付加価値製品の販売拡大		

重点戦略③

人的資本経営の推進

従業員の思いを叶えながら価値創出のストーリーを示す、当社らしい人的資本経営を推進

目指すべき価値創出ストーリー		成果指標(ジェンダー3指標と独自指標)
1. 経営人材戦略の連動 2. 多様性の確保・オープン、育成 3. 持続可能性のある働き方 ➡ 1. 選ばれる企業 2. 新商材や新事業の創出 3. “Well-being”の実現		① 女性管理職比率25% (2030年) ② 男性育休取得率100% ③ 男女賃金格差の是正 ④ 離職率減少 (新卒・経験者採用定着率向上) ⑤ 従業員エンゲージメントスコアの向上
新しい人事制度	両社従業員の意識を一つにする統合人事制度 ① 自律した「プロフェッショナル人材」の育成…年齢を問わず抜擢できるダイナミックな登用を実現 ② スキル・経験の「見える化」を推進…従業員自身がスキルや能力を自己分析し、会社は能力開発を支援、活躍機会を提供 ③ 「挑戦」を積極評価…失敗した場合でもセカンドチャンスを提供。同時にベストスタッフ(縁の下の力持ち)も評価	
シナジー創出の土壌	統合シナジーを生み出す強力なチームワークの形成、経営参画意識の醸成 ① 2023年1月の経営統合以降、経営トップによるメッセージ発信、座談会、3 on 1 ミーティングを実施 ② 活発な人的交流(両社従業員同士の部署紹介と業務勉強会、部署間懇親会)による価値観・文化交差と相互理解 ③ 新会社スタート時、持株会加入従業員に対して単元株を付与。経営参画意識の醸成とエンゲージメント向上を図る	

重点戦略④

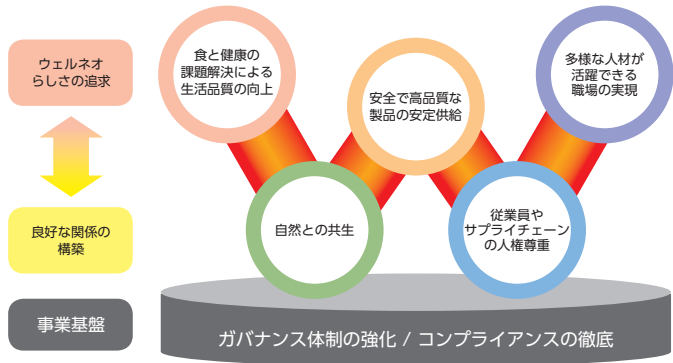
サステナビリティ経営の推進

経営理念・事業戦略・存在意義等を踏まえ、当社グループの5つのマテリアリティを特定

サステナビリティ基本方針

当社グループは、「挑戦」「多様性」「持続可能性」を、すべての事業を行う上で最も大切にしている価値観として捉えており、企業の社会的責任を果たしていくことはもちろんのこと、環境・経済・社会の課題解決と事業による経済的価値の創造の両立、すなわちCSV（社会と企業の共通価値の創造）を意識した活動を通じて、自社と社会の持続的な発展を目指し、社会から認められるサステナブル企業として中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

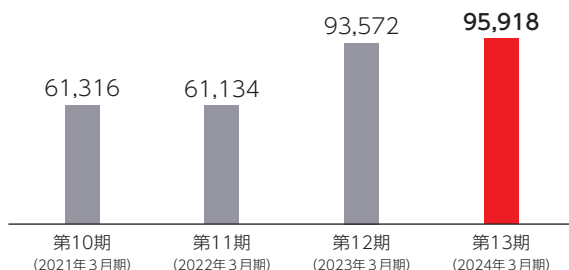
2024年10月の完全統合を前に、当社サステナビリティ推進委員会では、日新製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社のサステナビリティ推進委員会や関係部署と連携して、当社のパーパス・事業戦略等を念頭に置きながら、消費者やユーザーをはじめ、サプライチェーン、環境、従業員といった様々なステークホルダーの各種課題を“**Well-being**”に注目して整理し、最終的に5つのマテリアリティ（重要課題）として特定いたしました。今後は、それぞれのマテリアリティに設定したKGI（重要目標達成指標）の実現に向けて、KPI（重要業績評価指標）および各年度における行動計画を策定し、それらを意識しながら事業活動を行い、役員・従業員が一丸となってPDCAサイクルを回すことで、様々なステークホルダーの“**Well-being**”実現に向けて取り組んでまいります。



マテリアリティ	KGI	対応するSDGs
食と健康の課題解決による生活品質の向上	おいしさと健康の両立に役立つ製品・サービスの提供によって消費者の“ Well-being ”に貢献	 
多様な人材が活躍できる職場の実現	職場環境の整備やエンゲージメント向上施策を通じて従業員の“ Well-being ”を実現	 
安全で高品質な製品の安定供給	安全で高品質な製品の安定供給によってお客様の“ Well-being ”を実現	 
従業員やサプライチェーンの人権尊重	従業員やサプライチェーンの“ Well-being ”を守る	 
自然との共生	自然環境の“ Well-being ”への責任を自覚	  

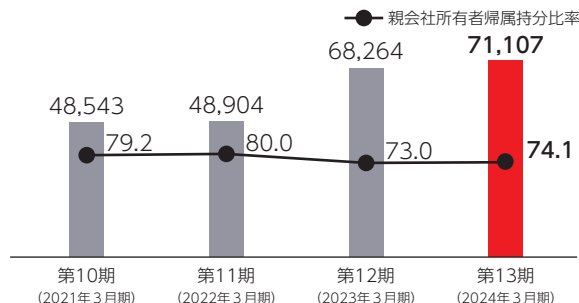
資産合計

(単位：百万円)



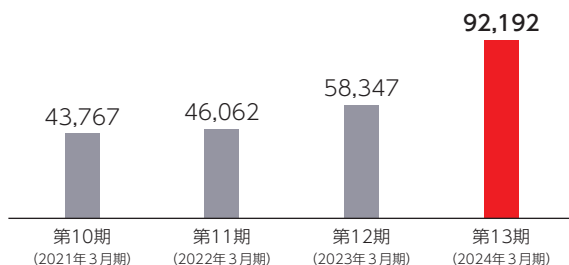
資本合計（親会社所有者帰属持分比率）

(単位：百万円/%)



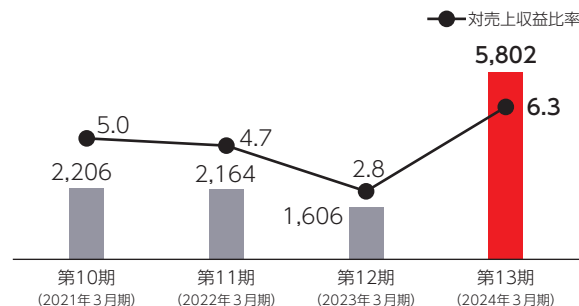
売上収益

(単位：百万円)



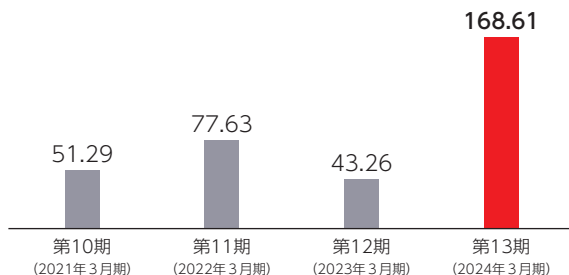
営業利益（対売上収益比率）

(単位：百万円/%)



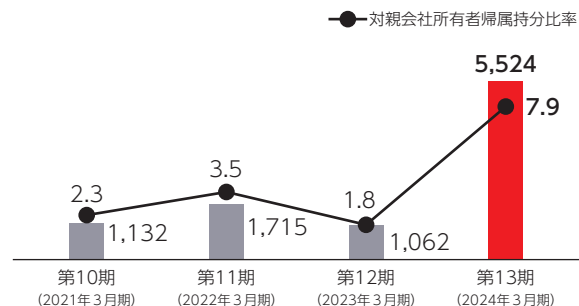
基本的1株当たり当期利益

(単位：円)



親会社の所有者に帰属する当期利益（対親会社所有者帰属持分比率）

(単位：百万円/%)



連結財務諸表

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2024年3月31日現在)	前 期 (2023年3月31日現在)
(資産)		
流動資産		
現金及び現金同等物	12,509	11,263
営業債権及びその他の債権	8,237	7,446
その他の金融資産	71	1,025
棚卸資産	16,375	14,614
その他の流動資産	733	633
流動資産合計	37,927	34,983
非流動資産		
有形固定資産	18,115	18,403
使用権資産	2,120	2,785
のれん	14,280	14,280
無形資産	242	411
持分法で会計処理されている投資	14,944	14,112
その他の金融資産	6,792	6,627
退職給付に係る資産	—	366
繰延税金資産	129	144
営業債権及びその他の債権	15	10
その他の非流動資産	1,350	1,446
非流動資産合計	57,990	58,588
資産合計	95,918	93,572

科 目	当 期 (2024年3月31日現在)	前 期 (2023年3月31日現在)
(負債及び資本)		
負債		
流動負債		
借入金	8,000	9,000
営業債務及びその他の債務	6,898	6,789
リース負債	880	890
その他の金融負債	77	516
未払法人所得税等	1,781	406
引当金	218	20
その他の流動負債	2,991	2,404
流動負債合計	20,847	20,028
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	18	0
リース負債	1,643	2,718
その他の金融負債	98	101
退職給付に係る負債	394	327
引当金	430	507
繰延税金負債	1,317	1,565
その他の非流動負債	58	58
非流動負債合計	3,962	5,279
負債合計	24,810	25,308
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	34,690	34,687
自己株式	△3,528	△3,534
その他の資本の構成要素	1,932	1,546
利益剰余金	31,012	28,563
親会社の所有者に帰属する持分合計	71,107	68,264
資本合計	71,107	68,264
負債及び資本合計	95,918	93,572

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. 1株当たり親会社所有者帰属持分 2,170円25銭

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)	前 期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)
売上収益	92,192	58,347
売上原価	75,950	49,079
売上総利益	16,242	9,268
販売費及び一般管理費	10,530	7,543
その他の収益	450	68
その他の費用	359	187
営業利益	5,802	1,606
金融収益	1,584	117
金融費用	81	59
持分法による投資利益	322	139
税引前利益	7,627	1,804
法人所得税費用	2,103	741
当期利益	5,524	1,062
当期利益の帰属		
親会社の所有者	5,524	1,062
非支配持分	—	—
当期利益	5,524	1,062

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. 基本的 1 株当たり当期利益 168円61銭

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2023年4月 1日から 2024年3月31日まで)	前 期 (2022年4月 1日から 2023年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,662	△1,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△822	4,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,593	△3,684
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,246	△699
現金及び現金同等物の期首残高	11,263	7,649
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	4,314
現金及び現金同等物の期末残高	12,509	11,263

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結持分変動計算書

当期 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				利益剰余金	合計
				キャッシュ・ フロー・ヘッジ	その他の 包括利益を通じて 公正価値で測定 する金融資産	確定給付制 度の再測定	合計		
2023年 4月 1日残高	7,000	34,687	△3,534	△12	1,559	—	1,546	28,563	68,264
当期利益	—	—	—	—	—	—	—	5,524	5,524
その他の包括利益	—	—	—	445	181	△319	307	—	307
当期包括利益合計	—	—	—	445	181	△319	307	5,524	5,831
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—	—	△0
配当金	—	—	—	—	—	—	—	△2,719	△2,719
株式報酬取引	—	2	6	—	—	—	—	—	9
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—	36	319	355	△355	—
非金融資産への振替	—	—	—	△277	—	—	△277	—	△277
所有者との取引額合計	—	2	6	△277	36	319	78	△3,075	△2,987
2024年 3月31日残高	7,000	34,690	△3,528	155	1,776	—	1,932	31,012	71,107

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

株主還元について

2024年3月期の期末配当について

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に親会社所有者帰属持分当期利益率（R O E）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益配分につきましては、連結配当性向（D P R）60%、または親会社所有者帰属持分分配率（D O E）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。

上記方針を本決算数値に適用し算定した結果、前回予想（2024年2月8日公表）よりも業績が上向き、親会社の所有者に帰属する当期利益の増加によって、年間配当金額につきましては、前回予想の92円から10円増加の1株当たり102円といたします。

これにより、1株当たり期末配当金額につきましては、1株当たり年間配当金額102円から1株当たり中間配当金額46円を差し引いた56円といたします。

[1 株当たり年間配当金額の算定式]

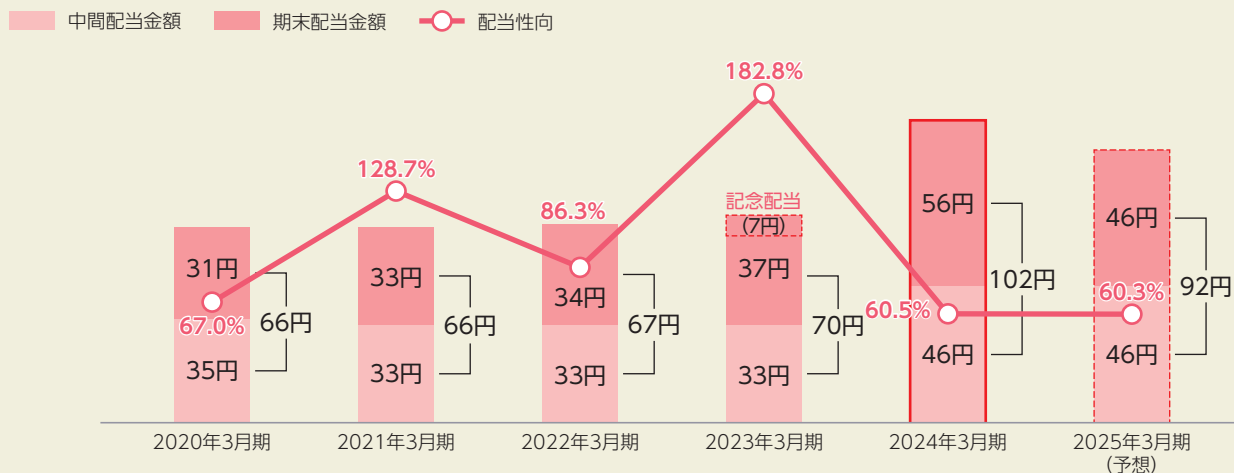
連結配当性向（D P R）60%基準

期末基本的1株当たり連結当期利益168.60円の60% = **102円**（1円未満切上げ）

親会社所有者帰属持分分配率（D O E）3%基準

期末1株当たり親会社所有者帰属持分2,170.25円の3% = **66円**（1円未満切上げ）

連結配当性向（D P R）60%基準102円の方が大きいため、**102円**を1株当たり年間配当金額といたします。



2025年3月期1株当たり年間配当金額(予想)

92円 (基準:DPR60%)

株主優待のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主の皆様に当社株式を長期的に保有していただくため、株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単位)以上の株式を保有されている株主様

株主優待の内容

保有期間3年未満の株主様には下記1,000円相当の当社グループ製品をお送りします。



沖縄・奄美のきびオリゴ350g

沖縄・奄美の国産さとうきび100%にこだわったフラクトオリゴ糖シロップです。さとうきび本来のやさしい風味を残したブラウンタイプなので、お料理にコクが出て美味しく仕上がります。カロリーは、同じ重さのお砂糖と比較すると30%オフで、ビフィズス菌の栄養源ともなります。

〔伊藤忠製糖〕



白砂糖スタンドパック400g

どんなお料理やお菓子、飲み物など何にでも使える一番一般的なお砂糖です。上白糖とも呼ばれ、しっとりしているのが特長です。

〔日新製糖〕



きび砂糖[®]750g

大自然の恵みをいっぱいに浴びて育ったさとうきびの風味が活かされた、まろやかな甘さのお砂糖です。他のお砂糖にはない独特のコクのあるおいしさが味わえます。粉末タイプのため、お料理はもちろん、お菓子づくりなどにもお手軽にお使いいただけます。

〔日新製糖〕

保有期間3年以上の株主様には上記3品に加えて下記3品を追加した計6品、2,000円相当の当社グループ製品をお送りします。



フルルのおいしいオリゴ糖330g

北海道産のてんさいから作られたフラクトオリゴ糖シロップです。クセの無い自然な甘さが特徴で、そのまま口にしてもおいしくいただけます。カロリーはお砂糖の約1/2で、おなかの環境を良好に保つ機能があります。

〔伊藤忠製糖〕



フロスト、シュガースタンドパック300g

冷たい水にもサッと溶け、ソフトな甘さのお砂糖です。ヨーグルトやアイスコーヒーなどの冷たい飲み物にお使いいただけるほか、お菓子づくりにもおすすめです。

〔日新製糖〕



珈琲糖(6g×20本)

使いやすいように、微細な粒のコーヒースーガーをスティックタイプにしました。コーヒー等の飲み物のほか、お料理にもお使いいただけます。独特のコクとまろやかな風味をお楽しみください。

〔日新製糖〕

- (注) 1. 「保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在において、当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上継続して記載または記録されている株主様(同一の株主番号で100株以上を、3月31日現在、9月30日現在の株主名簿に、7回以上継続して記載または記録されている株主様)といたします。
2. 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その期末の基準日(3月31日)から起算いたします。

贈呈時期

6月の定時株主総会開催後、7月上旬にかけての発送を予定しております。
7月中旬を過ぎてもお受け取りになられていない株主様は下記あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

ウェルネオシュガー株式会社株主優待事務局 (フリーダイヤル) **0120-184-005**

受付時間 平日9:00-17:00(土日祝日を除く) 受付期間 2024年8月30日(金)まで(以降は03-3668-1246 日新製糖(株)総務部)

※ご不在などでお受け取りできなかった株主優待品の再発送の受付は2024年9月30日(月)までとなります。ご了承のほどお願いいたします。

株主優待制度の詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください。

企業情報 (2024年3月31日現在)

会社概要

商号 ウェルネオシュガー株式会社 (WELLNEO SUGAR Co., Ltd.)
本店所在地 東京都中央区日本橋小網町14番1号
設立 2011年10月3日
資本金 70億円
事業内容 グループ経営管理事業および資産管理事業
役員 (2024年6月26日現在)
代表取締役会長 仲野真司 常勤監査役 今井秀明
代表取締役社長 山本貢司 常勤監査役 小西正人
取締役専務執行役員 大久保亮 監査役(社外) 和田正夫
取締役執行役員 伊藤成人 監査役(社外) 成瀬圭珠子
取締役(社外) 飯塚佳都子 (取締役兼任者を除く執行役員は以下のとおりです。)
取締役(社外) 藤原浩 執行役員 山口康雄
取締役(社外) 山東理二 執行役員 大場健司
取締役(社外) 南勝之 執行役員 安西浩樹
取締役(社外) 太田晋二

グループ会社

会社名	主要な事業内容
子会社	
日新製糖株式会社	砂糖その他食品の製造販売
伊藤忠製糖株式会社	砂糖および糖類ならびにその副産物の製造加工および販売
第一糖業株式会社	精製糖の製造および販売
新豊食品株式会社	砂糖等の加工および包装
ツキオカフィルム製薬株式会社	箔押事業・食用純金箔事業およびフィルム事業
日新サービス株式会社	合成樹脂等の販売
シー・アンド・エス・サービス株式会社	伊藤忠製糖株の設備の点検・保全・管理・運送代行業務の受託
株式会社日新ウエルネス	フィットネスクラブの運営
ニューポート産業株式会社	他 冷蔵倉庫・港湾運送業 他
関連会社	
新東日本製糖株式会社	精製糖等の製造
新光糖業株式会社	国産分蜜糖の製造、販売
南栄糖業株式会社	原料用粗糖の製造、販売
久米島製糖株式会社	原料用粗糖の製造、販売
新中糖産業株式会社	不動産賃貸業
衣浦埠頭株式会社	埠頭業、倉庫業、港湾運送業、通関業、貨物利用運送事業他
衣浦ユーティリティ株式会社	蒸気・電気・用水の供給、排水の処理役務の提供
※ツルヤ化成工業株式会社	他 甘味料を中心とした添加物、各種食品素材、健康食品、高機能性食品等の製造および販売 他

※当子会社の伊藤忠製糖株式会社は、2023年5月1日に、ツルヤ化成工業株式会社の普通株式42,800株(議決権比率20%)を取得いたしました。これにより、同社は当社の重要な関連会社となりました。

株式の状況

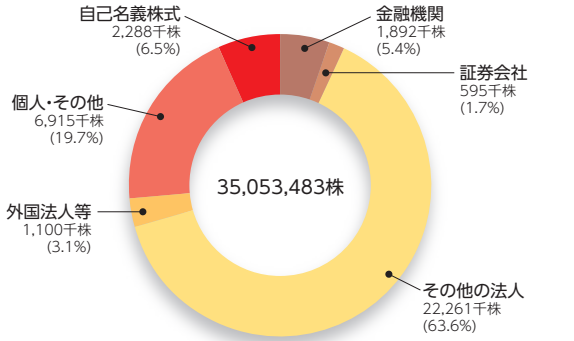
発行可能株式総数 90,000,000株
発行済株式の総数 35,053,483株 (自己株式2,288,574株を含む)
株主数 32,522名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	12,379	37.8
住友商事株式会社	8,296	25.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,261	3.8
ブルドックソース株式会社	399	1.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	331	1.0
むさし証券株式会社	306	0.9
平野 孝憲	218	0.7
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	177	0.5
関 定夫	157	0.5
日本生命保険相互会社	154	0.5

(注) 1. 当社は、自己株式を2,288,574株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況





人気料理店「賛否両論」店主の笠原将弘さんが考案した旬の食材ときび砂糖。で作る和食レシピ

四季のkokouma 糖きび砂糖 レシピ

トマトとパプリカ 土佐酢漬け

甘酸っぱいトマトと色鮮やかなパプリカを土佐酢で漬けこんだ和風ピクルス。



材料(作りやすい量)

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・トマト……………2個 ・赤パプリカ……………1個 ・生姜……………10g | A | <ul style="list-style-type: none"> ・だし……………200cc ・米酢……………80cc ・薄口しょうゆ……………40cc ・酒……………30cc ・糖きび砂糖……………大さじ1.5 |
|---|---|---|

作り方

- 1 Aを鍋に入れ火にかけ、一煮立ちさせ冷ます。
- 2 生姜はすりおろす。
- 3 トマトは湯むきして皮をむいてへたを取り一口大の乱切りにする。パプリカはへたと種を取り、3cm角くらいに切って沸いた湯でさっとゆでザルにあげ水気を切る。
- 4 ①に③を漬けて30分以上おく。器に盛り②をとめる。



笠原将弘
さんの
ひとこと

好きな野菜でOK。
わかめ、魚介類(エビ、たこ)などでも美味しい。
糖きび砂糖。とお酢の防腐効果で、冷蔵庫で約1週間保存できる。

シリアルバー

忙しい朝でも手軽に食べられます♪
小腹が空いたときやおやつにも♪



材料(2人分)



- ・フルーツ入りグラノーラ …… 100g
- ・沖縄・奄美の糖きびオリゴ …… 大さじ2
- ・バター …… 大さじ1



作り方

- 1 鍋にバターと沖縄・奄美の糖きびオリゴを入れて加熱しながら溶かす。
- 2 フルーツ入りグラノーラを入れて全体をよく混ぜ合わせ、クッキングシートに取り出す。
- 3 上からクッキングシートをかぶせ、1cm厚さに押さえて四角く形を整える。
- 4 上にかぶせたシートをはずし、160℃のオーブンで10分程度焼き上げて取り出す。
- 5 熱いうちに包丁で切り分け、冷ませばできあがり♪



コツ・
ポイント

焼く前に形を整える際、表面を平らにすると、焼きあがって切った時に断面がきれいに仕上がります。
お好みでナッツやドライフルーツを追加すればさらにおいしく!!
冷ました後ひとつずつクッキングシートなどで包むと保存もしやすく、持ち運びにも便利です。
オシャレなワックスペーパーでラッピングすれば、ちょっとした手土産にも。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権3月31日 期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) (受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く 9:00~17:00)
(ホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

- 住所等のご変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更、その他のお手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。

証券会社等の口座に記録された株式…口座を開設されている証券会社等

特別口座[※]に記録された株式……………三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

※株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様のご所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。

- 未払配当金のお支払については、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

表紙 松成 真理子 (イラストレーター・絵本作家)

子供の本を中心に幅広い分野で活躍している。『まいごのどんぐり』(童心社)で児童文芸新人賞受賞。その他絵本に『せいちゃん』(ひさかたチャイルド)、『じいじのさくら山』(白泉社)、『たなばたまつり』(講談社)、『雨二モマクス』(あすなる書房)など多数。

ウェルネオシュガー株式会社

〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1

☎ 03-3668-1246 (総務部)

ホームページアドレス <https://www.wellneo-sugar.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。